

Economic Indicators

発表日: 2024年12月27日(金)

景気動向指数(2024年11月)の予測

～基調判断は「下げ止まり」で据え置きの見込み～

第一生命経済研究所

シニアエグゼクティブエコノミスト 新家 義貴

(TEL: 050-5474-7490)

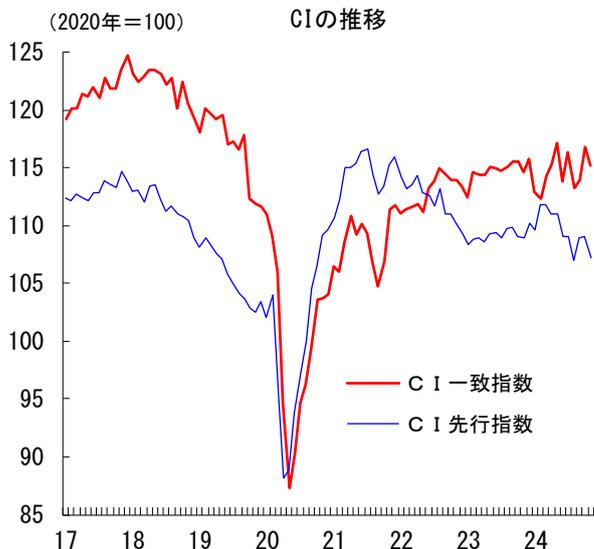
CI一致指数は一進一退

内閣府から1月10日に公表される2024年11月の景気動向指数では、CI一致指数を前月差▲1.6ポイントと、3ヵ月ぶりの低下を予想する。CI一致指数は一進一退の推移が続いており、均してみれば横ばい圏内の動きと判断される。11月の内訳では、鉱工業生産指数や投資財出荷指数や、耐久消費財出荷指数、輸出数量指数など、輸出・生産関連系列が押し下げ要因となる見込みである。

基調判断は「下げ止まり」で据え置き

CI一致指数の基調判断は「下げ止まり」で据え置かれるだろう。これで7か月連続の「下げ止まり」判断であり、CI一致指数が方向感に欠ける動きが続いていることが改めて示されるだろう。

先行きについても方向感に欠ける動きは続く可能性が高い。11月の鉱工業生産指数は前月比▲2.3%と低下したが、同時に公表された製造工業生産予測では、12月は経済産業省による補正試算値で前月比▲0.3%と足踏みが続く見込みとなっている。25年1月は前月比+1.3%と増産が見込まれるなど、低下が続く状況ではないものの、やはり一进一退の域を出ないことが予想される。CI一致指数の基調判断も、当面「下げ止まり」が継続するだろう。



(出所)内閣府「景気動向指数」

(注)直近の2024年11月は第一生命経済研究所による予測値

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

